

理事長挨拶



社団法人 大正琴協会理事長 海部俊樹

春寒の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は社団法人大正琴協会の運営に格別なるご理解とお力添えを賜り感謝申し上げます。

今年は大正琴が創作されて100年、今日まで継承されてきたことに対して先人に感謝するところであります。また改良に改良を重ね素晴らしい楽器に成長しました。これからも多くの世代に大正琴文化が伝承され、次の世代に受け継がれる事を願望するところでもあります。

ところで私は「自性清浄心」という言葉を座右の銘にしています。それを説いてくれたのは東海中学校校長 林 靈法先生、後の浄土宗大本山百萬遍知恩寺法主となられた高僧でした。

先生は人の心をつかむのが上手く、私の弁論大会へのきっかけは学校での行事に先生から「中学生弁論大会」に出てみないかと声をかけられたことでした。私は今までの行動に反省して「自性清浄心」の教えが素直に心に入りました。

これをきっかけに初めての弁論大会では、緊張で体中に電流が走りました。しかし気持ちがよく、人を説得する喜び、魚を釣るような爽快感、かかってきたゾ、さあ、ここでグーッと引き寄せようか、演説の醍醐味を生まれて初めて味わいました。結果は、初出場で優勝、京都で開催の全国大会も優勝、これが転機になり、砂漠に水が染み込むように、私のすさんだ心が癒され活力に溢れました。

「自性清浄心」は、妄念を離れた清らかな心、とらわれない、かたよらない、こだわらない、自我に滅し私心を捨てた心を清浄心、そしてこのように清く光り輝く心を、最高の存在、真実の存在としてそれを言います。

最後に、2月は朝夕厳しい寒さが続きます。くれぐれもお体を大切にご精励ください。

第36回通常総会議事録

1. 日 時 平成22年12月8日(水)
開会 午後1時00分
閉会 午後2時00分
2. 場 所 大阪市淀川区西宮原一丁目3番35号 大阪ガーデンパレス
3. 出席状況 会員の総数4,367名
出席会員数3,038名(委任状含む)
4. 出席理事 出席理事 鈴木萬司、加藤英也、岩間昌一、北林 豊、北林 篤、
吉崎裕幸、岡本浩二、今泉和久、照井力雄、佐伯恒司
出席監事 丹羽正夫
5. 議事の概要
- (1)開 会
定刻に、司会者の照井力雄常務理事が挨拶。
岩間昌一常務理事が、開会を宣言。
- (2)換 拶
北林豊副理事長が挨拶。
- (3)議長選出
司会者が、議長選出方法を議場に語ったところ、司会者一任の声あり。よって、北林豊副理事長を本総会の議長としたい旨語ったところ、賛成多数をもって選出し、同氏は、これを承し議長となった。議長は、事務局に出席状況の報告をさせた。
議長は、正会員現在数の過半数の出席があったので、本総会が成立した旨を述べた。
- (4)議事録署名人名人選出
議長が、議事に先立ち議事録署名人名人2名の選出について語ったところ、議長一任の発言があり全員異議なく賛成したので、議長は、鈴木萬司名誉会長及び加藤英也名誉会長を指名し、これを議場に語ったところ、全員異議なく承認した。
被選任者らは、いずれもこれを承諾した。
5. 議 事
- 第1号議案 平成22年度収支予算執行状況報告に関する件
議長が、浅井信人事務局長に本件議案の説明を求めた。
同事務局長は、予め配布した資料をもとに収支予算執行状況(平成22年4月1日から同年9月30日まで)について詳しく報告した。
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、本件を了した。
- 第2号議案 平成22年度収支補正予算案承認に関する件
議長が、浅井信人事務局長に本件議案の説明を求めた。
同事務局長は、予め配布した資料をもとに平成22年度収支補正予算案を詳しく説明した。
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に語ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。
- 第3号議案 平成23年度事業計画案承認に関する件
議長が、事業委員長北林篤常務理事に本件議案の説明を求めた。
同理事は、予め配布した資料をもとに平成23年度事業計画案を詳しく説明した。
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に語ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。
- 第4号議案 平成23年度収支予算案承認に関する件
議長が、浅井信人事務局長に本件議案の説明を求めた。
同事務局長は、予め配布した資料をもとに平成23年度収支予算案を詳しく説明した。
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に語ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。
6. 閉 会
以上をもって、社団法人大正琴協会第36回通常総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、降壇した。そして、佐伯恒司常務理事が閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、議長及び議事録署名人名人は次に署名押印する。

平成22年12月8日

社団法人大正琴協会 通常総会

議 長 北 林 豊 印

議事録署名人名人 鈴木 萬 司 印

同 加 藤 英 也 印

平成23年度事業計画(主要事業)

1. 生涯学習に関する普及・啓発

全国生涯学習ネットワークフォーラム岩手大会 大正琴合同演奏会 (中央事業)

日時 平成23年10月15日(土)

会場 花巻市文化会館

岩手県花巻市若葉町3-16-22 TEL 0198-24-6511

2. 指導者研修会

(平成22年度)

日時 平成23年3月2日(水) 13時30分(予定)

会場 京都ガーデンパレス

京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町605 TEL 075-411-0111

(平成23年度)

日程 平成24年3月予定

会場 栃木県宇都宮市

3. 通常総会

(第37回通常総会)

日時 平成23年6月8日(水) 13時(予定)

会場 名古屋ガーデンパレス(予定)

名古屋市中区錦3-11-13 TEL 052-957-1022

(第38回通常総会)

日時 平成23年12月7日(水) 13時(予定)

場所 メルパルク東京(予定)

東京都港区芝公園2-5-20 TEL 03-3433-7212

4. 平成23年度全国子ども大正琴コンクール

日時 平成23年8月21日(日) 13時(予定)

場所 ウイルあいち

名古屋市東区上堅杉町11番地 TEL 052-962-2511

5. 第26回国民文化祭「大正琴の祭典」

日時 平成23年10月29日(土)・30日(日)

場所 文化パルク城陽

城陽市寺田今堀1番地 TEL 0774-55-1010

6. 大正琴誕生100年記念合同演奏会

日時 平成24年2月12日(日)

場所 名古屋国際会議場 センチュリーホール

名古屋市熱田区熱田西町1-1 TEL 052-683-7711

平成23年度収支予算書

平成23年度4月1日から平成24年3月31日

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

| | |
|---------------|-------------|
| (1)基本財産運用収入 | 30,000円 |
| (2)入会金収入 | 250,000円 |
| (3)会費収入 | 33,900,000円 |
| (4)事業収入 | |
| ①生涯学習フォーラム | 400,000円 |
| ②100周年記念事業入場料 | 2,000,000円 |
| (5)補助金収入 | |
| 日本財団助成金収入 | 4,440,000円 |
| (6)雑収入 | 300,000円 |
| 事業活動収入合計 | 41,320,000円 |

2. 事業活動支出

(1)事業費支出

| | |
|------------------------|-------------|
| ①全国生涯学習フォーラム支出 | 4,500,000円 |
| ②地域生涯学習イベント助成費支出 | 200,000円 |
| ③全国子ども大正琴コンクール | 2,500,000円 |
| ④大正琴普及事業支出 | 3,400,000円 |
| ⑤普及功労者表彰事業支出 | 700,000円 |
| ⑥協会主催講座・講演会支出 | 350,000円 |
| ⑦地域講座等助成費支出 | 200,000円 |
| ⑧100周年記念事業 | 11,500,000円 |
| ⑨指導者研修会支出 | 350,000円 |
| ⑩調査研究事業支出 | 200,000円 |
| ⑪機関誌発行・ホームページ・パンフレット支出 | 400,000円 |
| ⑫租税公課支出 | 50,000円 |

(2)管理費支出

| | |
|---------|-------------|
| 管理費支出計 | 16,509,000円 |
| 事業活動支出計 | 40,859,000円 |

II 予備費支出

| | |
|----------|-------------|
| 当期支出合計 | 41,159,000円 |
| 当期支出差額 | 161,000円 |
| 前期繰越収支差額 | 8,223,744円 |
| 次期繰越収支差額 | 8,384,744円 |

全国生涯学習フォーラム高知大会

～まなび愛 つなげ龍馬の「志」～

平成22年11月22日(月)生涯学習フォーラムと名前を変えての第1回目の4流派合同演奏会が、高知市内の『かるぽーと 大ホール』にて開催されました。名前の変更はこの演奏会の開催がFESTIVALからFORUMへ、参加することに意義あるお祭りからステップアップし、いかにして生涯学習を実行するのかを問う催事として位置付けられたことであります。



当日は生憎の雨でしたが、四国4県の出演者を中心に中国地区など近隣の参加者も含め総勢884名の会員が参加し、生涯学習の成果を大正琴の音にこめて高知の空に響かせました。

最後に、ご支援、御協力をいただいた高知県や関係者の皆様に心より感謝申し上げ、無事終了できましたことをご報告いたします。

全国生涯学習フォーラム高知大会
実行委員長 鈴木 萬司

会員だより

心に残る大正琴の響きにみせられて

琴伝流 岩本 敏子

第25回国民文化祭が、岡山県で開催され、大正琴の祭典は、県東北部の町「勝央町」でサブテーマを「作州路をつむ大正琴百年の響き」と銘打って、去る11月6日、7日の2日間盛大に行われました。

参加団体は、県内30団体、県外25団体で、懐かしい曲・新しい曲を、色々な流派の演奏で聴くことが出来、至福の一ときでした。聴衆のお客様からは特に琴伝流のグループの演奏は、以前大正琴を習った事もあり、懐かしさも加わって、とても嬉しかった、と言う言葉も頂きました。

私達は、大正琴を始めてから年数も重ねて来、グループの会員もほとんど高齢者の仲間入りをしていて、視力・聴力・体力共に衰えてきました。

現代社会では、特に高齢者の痴呆になる方が多いといわれる中で、私達は、前頭葉を使い、指先を使い、体でリズムを取り、ほとんど全身運動の出来る大正琴を、地域の人達に楽しんでもらうために、高齢者施設や、地区の集まり、病院等を、ボランティアで訪問し色々な曲を演奏して一緒に歌って頂きます。

又入所者の方々に演奏の体験もして頂き楽しい時間を過ごしています。

私達は琴伝流大正琴に出合えて最高です。自分の体力の続く限り大正琴を楽しみ、仲間と共に頑張りたいと思います。今後共よろしくご指導下さいませお願いします。



第25回国民文化祭・おかやま2010
大正琴の祭典にて

「食べ物の風味と健康」について講演会開催

平成22年12月8日(水)第36回通常総会後の教養講座として関西福祉科学大学教授の嶋輝佳先生をお招きして講演会を開催しました。講演要旨は次の通りです。

戦後の食べ物

戦後からすると食べ物は飛躍的な変わりようです。食べ物が無い時代に育ったものとして美味しい食べ物やおやつにめぐり合えた時の感動は忘れられません。

今日は食の移り変わりについてお話し、皆さんの食生活向上・健康アップに貢献できたらと思っております、どうかよろしく願います。

現代の学生たちの昼食

大学の食堂では学生たちと昼食を共にしますが、彼らのメニューを見ますと、その取り合わせにビックリすることが往々にしてあります。それは昼食にインスタントラーメンとパンだけとか、ポテトチップとジュース、パンとジュースやコーラ、パスタのみとか野菜を取らず組み合わせが悪いんですね。炭水化物ばかりを取っているんですね。

その背景にあるものは、物余り、充足された社会になって自分の好きなものだけを食べることが出来る、一見恵まれた食生活です。また、本当に健康に良い食生活をするための知識不足が考えられます。

戦後の五大革命

戦後の食の五大革命として炊飯器・コンロ・ガス・電気・冷蔵庫・冷凍庫・チキンラーメン(インスタント)の登場が挙げられます。また、風味調味料の登場も大革命であります。皆さんの年代では味噌汁のだしに煮干、茶碗蒸しにはカツオのだしというように手間暇かけて作られていましたが、今はパックやスティックの風味調味料が手に入る時代であります。今日では、鍋に粉末の風味調味料を入れれば、簡単に汁がとれるのが当たり前の調理文化となりました。

利便性の著しい向上と料理文化

これは家事や労働の軽減化、創造性の楽しむ文化にはなりましたが、半面、時間を掛けず手抜きをするために、調理が苦手、下手になる人が増加しました。

皆さんも心当たりがあるかと思いますが、昨今ではスーパー・コンビニでは調理されたものが美味しく販売されており、これらを買求める傾向が強くなり、調理することが面倒くさい、時間がかからないとの傾向が見受けられます。出来合いの品を買うことへの抵抗も全く無くなりました。

先日もテレビで劇場社会という家庭の実態が紹介されました。これは家族、家庭において食べるものを与えておけばよいという傾向、食卓にインスタント物を置いていさえすれば、腹がすき家族は各々食べる、食べる時間も、内容も関係なく、餌を与えるような家庭が増えているそうです。この風潮は人間関係にも悪い影響を与えますし、料理は会話の中、楽しく召し上がることに意義があり、人間生活の基本だと思えます。

日本型食生活の見直し

従来の日本型食生活、いわゆる米、魚介類、根菜、植物繊維の葉菜、大豆、海藻類、お茶等からなる献立は、必ずしも栄養バランスは良くありませんが、1980年頃経済成長と共に、これらをベースに肉類や乳製品が加わり、理想的な栄養バランスになり、日本は世界一の長寿国になりました。世界から日本型食生活が注目され、寿司バー、緑茶、豆腐など、日本料理に注目が集まっております。海外のシェフたちは、日本の野菜料理(お惣菜)や魚料理が健康に良いことを知り、日本の伝統的な料理技術を取り入れようとしています。

しかし、最近では、食生活の欧米化やインスタント化により、脂肪の摂取が多くなり、生活習慣病の発症が懸念されています。

この意味で、本来の日本型食生活の良さを見直し、ヘルシーな野菜や魚がたっぷりの和食料理を味わうことは必要でしょう。

食育を考える

私は現在京都市教育委員会から依頼され、小学校で京料理老舗の調理人、先生、父兄の皆さんと共同で、「日本料理に学ぶ食育プログラム」を進めております。内容は「だし」の魅力、食材に命があること、もてなしの心、を教えることがテーマです。

料理人が最高の食材、最高の技術を披露し、子どもが日本料理の魅力、特に「だし」の風味に感動します。ホンモノの味をいつまでも伝える文化、子どもの頃に味わった味、伝統の味と技術、正しい食生活の知識を伝えるための教育を実践しています。また、皆さんと新しい食育のあり方について研究しているところです。

東西のだし文化

東西うどん記行でお話します。昔から「関西の薄味、関東の濃い味」といわれていますが、現在はどうかのにかについて調査してみました。

東京と大阪ではうどんのだし汁が随分違います。昔から、大阪のうどんはだしが利いて美味しいといわれています。東京は色も味も黒い濃いだし汁で、大阪の色は色もだしの味も薄いのです。しかし、大阪のだし汁は、東京のように香りの強い濃い口醤油でなく薄口醤油を使いますので、醤油の香りで「だしの香り」が消えず、だしの香りがほのかに伝わり、だしが利いて美味しいと感じるのです。関西風のだしと関東風のだしの分岐ライン(味の分水嶺)は岐阜県の関が原を境にしているようです。

このように地域により食文化の違いがあります。文化の違いを気楽に受け入れる文化も必要でしょう。

最後に、生活を視点において、食材のこと、食物の栄養性や健康増進機能のこと、料理や食文化のことなど多くの視点に立ち考えることが、味のある料理、文化のある料理に行き着くのではないのでしょうか。

平成22年度全国子ども大正琴コンクール審査結果

次世代を担う小中高校生の皆さんが集まり、昨年9月23日名古屋市の中電ホールにおいて開催しました。北海道から沖縄に至るまでの子ども達が、大正琴の音色を会場一杯に響かせました。

ライブ参加で最優秀賞に輝いたのは3チーム、ビデオ参加では1チームでした。詳細は下記の通りです。

平成22年度全国子ども大正琴コンクール審査結果

【ライブ参加の部】

| 賞 | 部門 | 曲名 | グループ名 | 県 |
|------|-------------|------------------------|--------------------|------------|
| 最優秀賞 | C部門 | 翼をください | Miya サタデイサークル稚振 | 岐阜県 |
| | B部門 | みちのくひとり旅 | スマイルエンジェルズ | 静岡県 |
| | A部門 | 津軽のふるさと | 飛騨高等学校大正琴部 | 静岡県 |
| 優秀賞 | B部門 | 輪違板 長瀬より抜粋 ラデツキー行進曲 | 澄碧キッズ 岡山サラン登 | 愛知県 岡山県 |
| | ソロ部門 | 津軽じょんがら節 (青森県民謡) | 澄碧キッズ西田流 | 愛知県 |
| 奨励賞 | C部門 | あの町この町 | トワイライト如墨 | 愛知県 |
| | | 故郷 | 琴伝流大正琴佐久花会 浅科子ども教室 | 長野県 |
| | B部門 | TOMORROW | Miya サタデイサークル稚振 | 岐阜県 |
| | | 白いプランコ | ポップコーン | 長野県 |
| ソロ部門 | 戦争を知らない子供たち | さざなみメロディー | 愛知県 | |
| | となりのトトロ | 琴本屋Z | 長野県 | |
| 努力賞 | B部門 | 美しき日本のゆめ歌メドレー | パプファル キッズ | 滋賀県 |
| | | 手のひらを太陽に | 小学生なまよしグループ | 愛知県 |
| | | 僕は君に恋をする | ドリーム娘 | 大阪府 |

【ビデオ参加の部】

| 賞 | 部門 | 曲名 | グループ名 | 県 |
|------|----------|-----------------|------------------------|------|
| 最優秀賞 | C部門 | 小さな世界 | 那覇市立松川小学校 | 沖縄県 |
| | C部門 | あゝ人生に涙あり | 鳥田市立神楽小学校 | 静岡県 |
| | B部門 | トルコ行進曲 | 世田谷中学校総合文化部 | 岩手県 |
| 優秀賞 | B部門 | アイネクライネ ナハトムジーク | スマイルキッズ | 北海道 |
| | | テルーの唄 | かっこ花の会 | 岩手県 |
| | ソロ部門 | 下町の太陽 | 琴聲会 | 神奈川県 |
| 奨励賞 | C部門 | キセキ | 埼玉東横ヶ谷市立さ小学校大正琴クラブ | 埼玉県 |
| | | たなばたさま・しゃぼん玉 | 蒼検公民館子供大正琴きららNo.1 | 沖縄県 |
| | B部門 | かわいいかねんぼ | 矢作小学校 大正琴教室 | 岩手県 |
| | | 遙か | 高浜中学校 | 福井県 |
| | | 嵐はまだ昇る | さくらんぼ | 広島県 |
| A部門 | 剣の舞 | リトル オボーツク | 北海道 | |
| | | 名曲パレード“四季メドレー” | 内野3姉妹 | 鹿児島県 |
| 努力賞 | C部門 | 春の小川・さくらさくら | みんなスがおで | 岐阜県 |
| | | 聖者が街にやってくる | 青森市立大森小学校音楽クラブ | 青森県 |
| | | 世界に一つだけの花 | なまよしキッズ | 佐賀県 |
| | B部門 | およげたいやきん | 世田谷小学校の都クラブと土曜教室8号グループ | 岩手県 |
| | | 翼をください | 大口北小学校 大正琴クラブ | 愛知県 |
| | | 森のくまさん | 大和田小学校 サタデースクールグループ | 東京都 |
| | | 八木節 | 常盤小学校 音楽部 | 愛知県 |
| | あゝ人生に涙あり | 蒼検小学校 ふれあい大正琴教室 | 沖縄県 | |
| | キラキラ星 | プリズム カヤ | 京都府 | |

部門の説明 (年齢基準日 平成22年4月1日)

C 部門…平均年齢が10歳以下のグループ

B 部門…平均年齢が10歳を超え15歳以下のグループ

A 部門…平均年齢が15歳を超えるグループ

ソロ部門…年齢にかかわらず一人で演奏する人

平成23年度全国子ども大正琴コンクールの募集について

- 開催日：平成23年8月21日 (日)
- 場所：ウイルあいち ウイルホール (名古屋市東区)
- 部門：当日会場で演奏する「ライブ部門」と録画映像で参加の「ビデオ部門」があります。
- 参加費：無料

詳細については下記へお問い合わせください。

社団法人 大正琴協会または所属流会派までお気軽にお問い合わせください。

社団法人 大正琴協会 電話052-263-9633 FAX052-263-3341

トピックス

今新幹線は、世界各国で注目を集めておりアメリカ、ベトナム、ブラジル等で関心が高まっており、日本の先端技術が評価されているところであります。

新幹線も昨年12月4日青森まで開通しました。これで新青森駅から本年の3月には鹿児島中央駅までレールで結ばれることになり、日本列島は航空機と競争して一層便利になります。

鉄道の楽しさは1時間に何本もの列車が運行されており、気軽に乗車できることであります。また、駅や車中の駅弁・各地の車窓・どこかで途中下車したい気分・広い車内等多くの魅力があります。気分転換に向けて遠くへ出かけることも元気の源であり、気分爽快にもなります。

今年の全国生涯学習ネットワークフォーラム岩手合同演奏会は平成23年10月15日(土)新幹線停車駅の花巻市文化会館で開催します。皆さん遠くへ行きませんか？



編集後記

老後の事を考えていられる皆さんも多いことでしょう。大正琴はみんなと出会う精神面の収穫や健康に良い楽器と思います。そのようなことから各地の公民館や生涯学習センターで活発に教室が設けられているところであります。

ところで年末年始先祖に感謝して墓参りに出かけられた人も多いでしょう。墓参りに出かけますと各所で全然墓参りされていない墓に出会います。色々な事情や家族の少子化により家族が分散して所有がわからない、お寺の付き合いが出来ない等事情のこともありましょう。先祖を大切にこの1年頑張りたいと思うとともに、今年も健康でいられる年であることを願うところです。

お知らせ

「協会たより」は都合により次回からは、年1回の発行となりますことをお知らせします。